

# 振興会だより よしだ

2020年(令和2年)  
3月5日発行  
第47号  
吉田地区振興会

## 大勢で 楽しかった 新年書初め大会



新春の恒例行事となった書初め大会が、快晴に恵まれた1月5日(日曜日)市民文化センターに於て吉田と丹比地区両振興会の共催で実施されました。今年も吉田小学校の児童が97名と多数参加してくれました。開会行事は、新年の挨拶に始まり講師の紹介へと進み、井上美和さんと吉田高校書道部顧問世沢嘉子先生及び書道部員5名が自己紹介されました。1・2年生は硬筆です。姿勢よく、心を込めて一点一画を丁寧に書写しました。



3年生以上は『美しい心』『新たな決意』など学年ごとの課題に、90分間精神を集中して筆を運びました。「初参加ですが楽しかった!」(6年生女子)の感想も。

完成した作品はパネル15枚に展示して、講師から1人ずつ「苦労したところ」を問われたり、「良かったところ」をほめてもらったり満足そうでした。



墨継ぎの時期、配置や形のまとめ方など書写の基本を学びました。終わりに、参加賞を受け取り、手づくりのぜんさいを味

わって『楽しかった』思い出を胸に笑顔で家路につきました。背中に『耐雪梅花麗』のそろいのジャンパーを着用した吉田高校書道部員の皆様丁寧なご指導ありがとうございました。来年もよろしく願います。



新春早々、2日間にわたって会場の設営から物品の準備、ぜんさいの仕込みなどお世話を頂いた会員・女性部の皆様に感謝申し上げます。

(担当:文化教育部)



# 友愛訪問

令和元年12月7日(土曜日)に友愛訪問として各地区の行政区員さんが251名の高齢者にお弁当をお届けしました。

当日は14時に吉田運動公園創作室に集合し準備をしました。

昨年までは、会員による手作り弁当をお届けしていたのですが、調理点数も多く完成までに時間がかかり食中毒の心配が考えられるとの意見が出たところから、保健所の見解も参考にし完成弁当に変更しました。



お弁当をお届けしたある女性会員は「今年奥様を亡くされて1人住まいの方にお弁当を届けて、久しぶりにお話をする事ができました。これからは、もう少し見守り・声かけをしてあげよう。」と話されました。

本当にそうですよね。この日にお弁当を届けて終了ではないですよ。少しでも、気にかけることが大切だと感じました。



2019年

秋の植栽は、吉田高校の生徒さんとの協働作業ができました。Aさんから購入したパンジーの苗500本を11月9日会員11名で植え付けました。2時間ほどで作業は終了しましたので、ホッととして家路につきました。

2日して記憶が薄れてきた朝、大変な電話が！

「鹿にキレイに食べられちゃうよ!」

駆けつけてみると、無残にもほとんど全てが食べられていました。

毎年少しは被害があるので、このように全滅したのは初めてです。



(見るも無残な花壇)

# 吉田地区グラウンドゴルフ大会



令和元年10月20日13時より、第24回吉田地区振興会グラウンドゴルフ大会が吉田運動公園にて開催されました。

吉田町チャンピオン大会出場をかけて、11チーム66名の皆様が白熱したプレーの中にも笑い声有り、失敗した時の残念な大きな声があり、プレーを大いに楽しんでいただいたようでした。



## 団体の部

- 優勝 三矢タウン
- 2位 西土手さくら

高樋

- 4位 郡山B

- 5位 西土手あじさい

- 6位 一丁目

- 7位 上五丁目

- 8位 郡山A

以上八チームがチャンピオン大会出場

## 個人・女子

- 優勝 山根 清子(一丁目)

- 2位 木和面正子(一丁目)

- 3位 倉本八重子(郡山B)

## 個人・男子

- 優勝 平岡 謙三(三矢タウン)

- 2位 桧山 義夫(三矢タウン)

- 3位 河野 勝行(西土手さくら)



# 吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会

令和元年11月7日第22回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会が運動公園グラウンドにて開催されました。4地区を勝ち抜いてきた32チームが熱戦を繰り広げました。

吉田地区の選手の活躍で優勝と2位となりチャンピオン大会は圧勝しました。

## ● 成績 ●

### 団体の部

- 優勝 郡山B (吉田)

- 2位 郡山A (吉田)

- 3位 上新屋郷めだか(可愛)

### 個人の部

- 優勝 森末 信好(郡山B)

- 2位 木和面正子(一丁目)

- 3位 藤堂 繁登(郡山A)



**四軒屋地区から**

**今日は！いただきます!!**

私達の地区は空き家の3軒と振興会未加入の2軒を除く10軒で活動しています。全員とても仲が良く、年に2・3回野菜や米を持ち寄り弁当を作り75歳以上の方に配っています。



40代から70代が無理のない程度に集まり活動しているのですが、私にとっては若い人との交流の場であり情報交換の貴重で楽しい場です。お互いに下の名前前で呼び合い、ユーモア溢れた会話がはずみ、笑い声が絶えない時間です。「生きとったん?」

「どつしようるんか思いよったんヨー!」「お父さんは?」「お母さんは?」認知症の話が出れば、「ウチも」「ウチも」。時には夫を上げたり下げたり。

「こんな気さくな地区に嫁に来て良かった!!夫に感謝。皆に感謝。この活動が少しでも永く続けられれば良いが!」と思う。

そして吉田地区振興会より活動の補助金が出ることに感謝!感謝!今後も補助金を宜しくお願い致します。

美味しかった♡ご馳走様

(四軒屋地区のふれあい会報告)



**先進地視察に参加して**

行政と協働して防災・まちづくりに積極的に取り組んでいる松江市法吉地区を勉強しに行きました。

『地域の安全・安心は地域の力で守る』を旗印として地区の公民館(行政)がコーディネイター(調整役)となつて各種団体・ボランティア・行政・消防団などの力を有効に活用できる体制づくりに努力しているそうです。

**災害時における支援体制**

■おねがい会員とまかせて会員  
自分の力で避難できるかどうか心配だと不安を抱えている人々たちを「おねがい会員」と呼びイザと言つとき支援できる人たちを「まかせて会員」と呼ぶ。

■支援の内容  
災害時における安否の確認と、避難所までの誘導及び平素の声掛けと見守り活動。

**○支援者の役割**

あくまでも善意により、災害時や日常において困っている人を支援するもので、責任を課すものでないこと。そのために1人に対し2人以上の支援者を置き負担を軽減している。

**○効果**

災害発生直後には、地域での支援活動が最も有効であるといわれているが、平成18年7月の豪雨災害時におねがい会員の大きな心の支えとなった。

**○定着化に向けて**

平常時の見守り、まかせて会員研修会、防災訓練、住民への啓発活動を地道に継続する。

素晴らしい活動を勉強させていただきました。参加された女性部員)

**編集後記**

1月時には「中国の話」と話題にしていた新型コロナウイルスが猛威を振るっている。デマに惑わされず賢く対処しましょう。

小川 芳史